



●プロフィール●  
はやし・みのある 一九四五年、  
京都生まれ、株式会社童夢代表取  
締役社長。六五年、一九歳のとき  
に初めてレーシングカーを製作す  
る。以来三一年間、多数の車を開  
発。代表作はスーパーカー「童夢  
I号」など。この度三二年ぶりに  
国産F1マシン「童夢F10五無  
限」を開発、現在テスト中。

林 みのる 株式会社 童夢 代表取締役社長

## ああ、日本の息子よ

本当に心の清らかな人というものは、  
案外と間の抜けた人が多いのだろうと思  
う。世情に疎いか、ひよつとしたら無神  
経な人たちかもしれない。

現在の日本社会を正視しながら、しか  
も清らかな心を保ち続けられる人がいた  
なら、その人はどんな気持ちで毎日を通  
ごし、どのように現実を処理しているの  
だろう。幸いにも、私の頭の中は世俗に  
まみれ、雑念と怠惰な気持ちで充滿して  
いるから、ある程度は「こんなもんさ」  
と聞き直ることもできるが、自分の息子  
については一体どのような生きてほしい  
のか、そのためには何を教えるべきなの  
か、それが私には分からないのだ。

事情説明は割愛するが、私は現在五〇  
歳で一人息子は二歳、最近やつと会話が  
成立するようになったばかりである。と  
りあえず、勉強させてはいけない。万が  
一、東大にでも行って官僚にでもなられ  
た日には、世間から困窮とさげすまれる  
は、先祖に顔向けはできないは、恥さら  
しもいいとこだ。リーダースhipを叩き  
込むというのとも考えものだ。ひとつ勘違

コンストラクターである。唯一と言えは  
聞こえはよいが、要するにニーズがない  
とも言える。何故ニーズがないかと言  
うと、みんな外国製が好きだからである。  
その結果、日本のトップカテゴリーのレ  
ースは日本のサーキットを舞台とした外  
国車たちの活躍の場となり、また、日本  
の自動車メーカーが海外レースに挑戦す  
るためのマシンは外国の技術で作られる  
のが当たり前になった。だから日本の「自  
動車レース」は正しくは自動車のレース  
とは言えない。まあ、ロバクのオペラを  
観劇していると思えば間違いない。とこ  
ろで、先日フランスで開催されたル・マ  
ン二四時間レースに惨敗したさる日本の  
自動車メーカーが、「来年はポルシェに勝  
つために海外の強豪チームにマシンの製  
作を依頼する。」と発表したことを新聞が  
報じている。事の真偽は定かではないが、  
ジョークだとしたら上出来だ。久しぶり  
に笑わせてもらった。ただし、この発表  
が事実としても、このメーカーの車の売  
り上げに影響を及ぼすことが絶対にな  
いことだけは確かである。だから、いつま

いして道を誤り、いまや日本で最も卑し  
い職業と成り果てた政治家にでもなっ  
てしまったら眼も当てられない。

ある番組で、日本の技術者たちが何か  
の研究に没頭している様子を追っていた。  
長い時間が経過した後、その研究は成功  
したようだ。技術者たちは涙を流さんば  
かりに喜び、お互いの検討を賛え合っ  
ていた。その研究とは米国製のコンピュ  
ター用新型チップの内容を解明していた  
のである。つまりパクっていた訳である。  
現在の日本の技術者に与えられた使命は、  
おおむねこんなところだ。可愛い息子を  
泥棒にはさせられない。私の父は画家だ  
ったし、私も自動車のデザインをしてき  
ただから、芸術的な方向を目指す可能  
性もある。しかし、人間の個性や特別な  
才能を育てることがとても下手なわが  
国で成功するには、芸術家といえども、  
ビジネスセンスが不可欠である。それなら、  
何も回りくどいことをしなくても商売人  
になればよい。もちろん、モータースポ  
ーツには絶対にかかわってほしくない。  
童夢は日本での唯一のレーシングカー・

でたつても本物と偽物の区別がつかない。  
さて、それでは私の息子は外国人にす  
ればよいのかと言うと、一概にそれが正  
しいとは言いが切れない。物真似が得意だ  
ったり、創造力が欠如していたり、する  
い性格だったり、やたら公德心に欠けて  
いるようだったら、絶対に日本で育てる  
べきだ。そして日本式の教育を受けさせ  
ることによって、これらの特性を最大限  
に生かせる生き方を覚えることができる  
だろう。そこで他人と同じように暮らし、  
同じように死んでゆく意義を悟るはずだ。  
立派な日本人に成長した暁には、この  
国で生きていくことに何も恐れるものは  
ない。しかし、私の息子はこの国で普通  
に暮らすことを幸せと信じ、ここまで育  
てた私に感謝するだろうか、または、砂  
上の楼閣に置きざりにした父を恨み続け  
るのだろうか。

分かるはずもないパソコンに夢にな  
っている息子は、まだこの日本製パソコ  
ンの中身がすべて外国の技術でできてい  
ることを知らない。私は息子にどのよう  
に生きろと教えればよいのだろうか…。